

年10月3日、日米安全保障協
 委員会(2+2)の共同発表で

普天間飛行場の移設は、キヤ
 ンプシユワブ辺野古地区への
 移設が普天間飛行場の継続的
 な使用を回避するための唯一
 の解決策であることを確認。

KC・130飛行隊の普天間
 飛行場から岩国飛行場への移
 駐に関する協議の加速化を確
 認。(2014年8月岩国へ移駐)

2020年代の前半に沖縄か
 らグアムへの米海兵部隊の移転
 が開始することを公表。



宜野湾市議会での研修

沖縄防衛局において普天間飛
 行場の県外移設は考えられない
 かとの質問に対し、多数の候補
 地について検討しているとのこ
 とでした。

普天間飛行場の危険性を早期
 に除去する必要がある点や代替
 施設の建設が進まない限り、普
 天間飛行場が固定化されてしま
 う。現実的には、今の辺野古地
 区への移設がベストだそうで
 す。また、現在約480ヘクタ
 ールある飛行場は、辺野古移転
 後は約160ヘクタールと規模
 縮小となる。

我が国の地勢的な特徴を考え
 れば、我が国の安全保障は容易
 ではありません。島嶼の多い日
 本の防衛においては、自衛隊と
 海兵隊の共同作戦が重要である
 と思われる。

一方、沖縄の基地アレルギー
 も理解できる。先の知事選・衆
 議院選と、沖縄県民の意志は基
 地の負担軽減であり、県外移設
 である。戦後70年、これ以上の
 基地負担は、日本全体で考えな
 ければならないと考える。

この普天間飛行場問題は、理



北谷町議会での研修

想と現実の狭間で私たちも考え
 を見つけることは難しいです
 が、一日も早い決着を……。

この報告書を書く間、イスラ
 ム国が日本人を相次いで殺害し
 た。「日本の国民がどこにいよ
 うとも虐殺をもたらず」と、脅
 迫しました。この許し難い犯罪
 は、安倍首相の中東での演説や
 人道目的の支援がイスラム国に
 正しく理解されなかったせいな
 どという批判があるが、的外れ
 であると考える。ここに正すべ
 き歪みがあるとしたら、それは
 むしろ日本の安全保障体制と安
 保に関する考え方である。

今、私たちに突き付けられて
 いるのは、このままの日本で本
 当に日本国民を守り通せるのか
 という問いである。沖縄普天間
 問題とリンクしていると思うの
 は私だけでしょうか？。



密集地にある普天間飛行場

表彰

- ・議員として27年以上在職し
 功労のあった者
 広田清晴 荒川政義
- ・議員として15年以上在職し
 功労のあった者
 久保雅己 魚原満晴
 魚谷洋一 平川敏郎
 田中隆太郎 松井岑雄
 尾元 武 小田貞利